

広報

かわにし

(毎月10日発行)

人口の動き

— 5月1日現在 —

男 4,550 (-2)

女 4,592 (-4)

計 9,142 (-2)

世帯数 2,276 (+11)

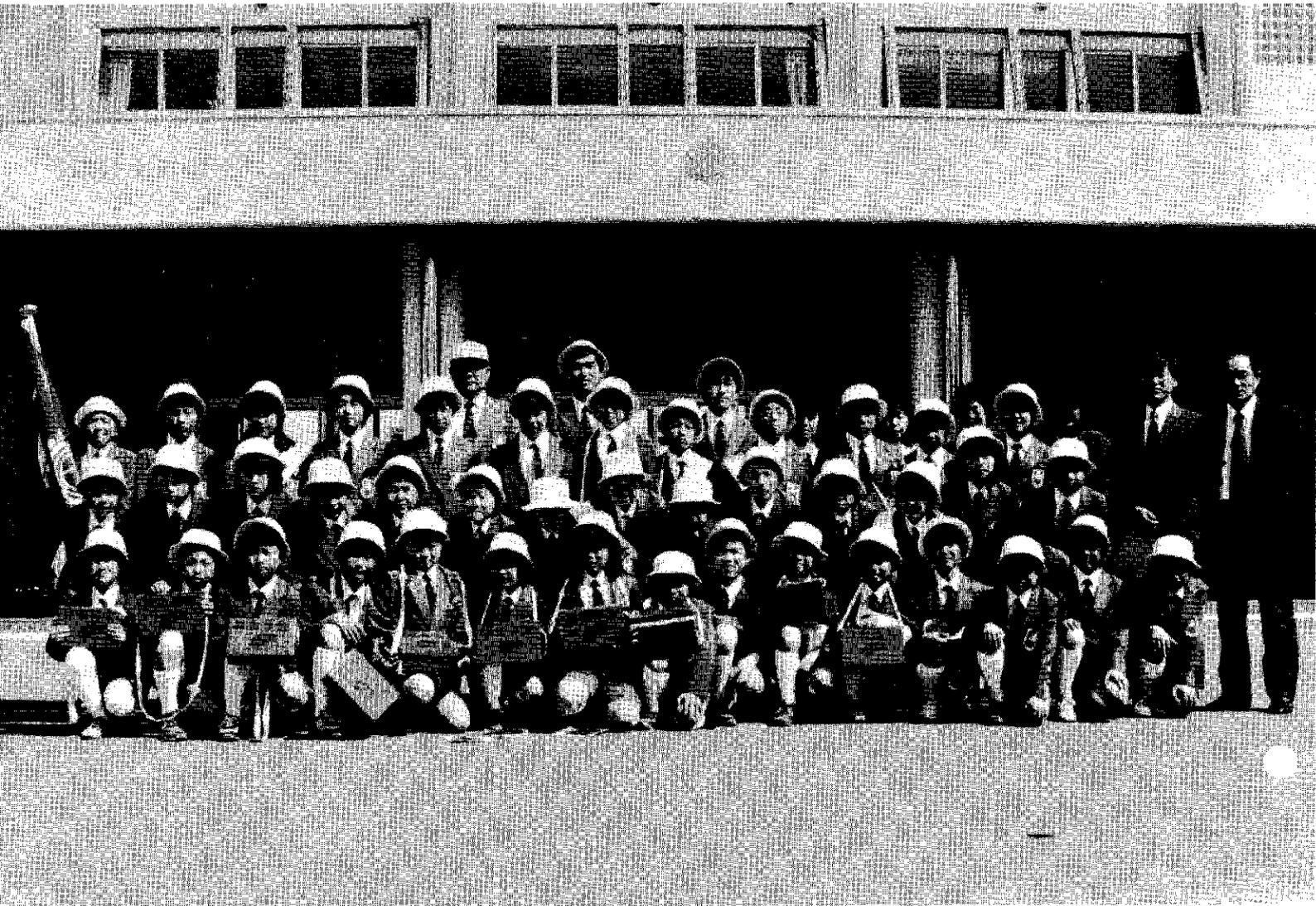
()は前月比較

平成元年 5/10 No.369

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)

(FAX 0257-68-3828)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社



森にはきれいな空気と豊かな水が

緑の資源を大切に

— 4月6日 上野小学校 —

昭和59年上野小学校に生まれた「緑の少年団」。

緑を愛し、育てようと植樹祭への参加や学校林の草刈りなどの活動をしています。

今日は今年の初仕事、緑の羽根の街頭募金に5年生と6年生の団員42人が出発です。

集められたお金は、松葉荘の前庭など公共施設や、学校の周りに植える緑の費用となります。



休日救急医

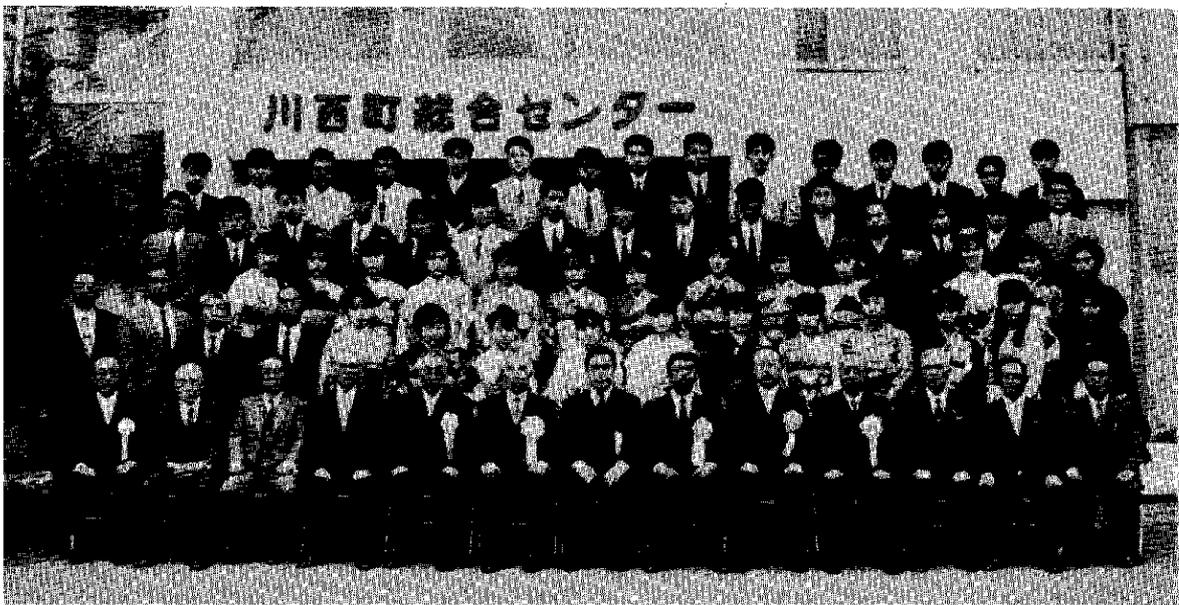
5月14日 山口医院(下条) ☎55-2003

21日 池田医院(本町西) ☎52-2581

28日 中条病院(中条) ☎57-3018

6月4日 第二藤巻医院(上野) ☎68-2018

11日 山口医院(袋町中) ☎52-2174



川西町総合センター

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|------|-------|------|------|------|------|------|------|--------|--------|-------|------|-------|------|------|------|-------|-------|-------|------|------|------|------|-------|-------|------|------|-------|------|-------|------|------|
| 寺尾 | 中屋敷 | 小学校町 | 神社町 | 中央町 | 上町 | 東善寺 | 四郎兼 | 朝日町 | 栄町 | 發電所通分東 | 發電所通分西 | 山野田 | 中島町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 白井尊 | 数藤幸夫 | 小林清人 | 増田明弘 | 市川玲美 | 高橋宏子 | 貴田勝行 | 柳由佳 | 星名力 | 清水英之 | 山崎康明 | 増田幸二 | 清水道宣 | 高橋理香 | 平野みゆき | 渡辺光政 | 平野政治 | 高橋英伸 | 南雲敏秋 | 中村桂子 | 滝沢美穂 | 江村早苗 | 北野輝子 | 丸山美根 | 南雲容子 | 八子恵美子 | 相崎由美子 | 須藤博之 | 高沢智行 | 喜多業美子 | 小林晶子 | 阿部さゆり | 小海一成 | 相崎和子 |
| 鶴吉 | 霜条 | | 坪山 | | 高原田 | | | | | 伊友 | | 沖立 | 木島尾 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 田村美和子 | 藏品由美子 | 藏品光代 | 高橋まり子 | 高橋宏文 | 中村久志 | 中村千尋 | 中村明美 | 高橋範也 | 吉楽義文 | 星名千春 | 丸山真由美 | 星名久美子 | 星名順子 | 榎間維次 | 榎間順子 | 榎間順子 | 星名秀之 | 羽鳥江里子 | 五十川里香 | 五十川久敏 | 相崎正幸 | 星名俊一 | 星名洋彦 | 数藤武明 | 数藤和明 | 太田昭弘 | 佐藤直子 | 丸山弘和 | 小林悦子 | 小海敦弘 | 村山和弘 | 喜多秀行 | 阿久津充 |

千手地区



| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------|------|------|------|------|------|-------|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|-----|
| 藤沢 | 小岩白倉 | 赤瀬谷 | 田戸 | 高倉 | 小脇 | 室島 | 中仙田 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 茂野智 | 田中良 | 江口政和 | 金子一昭 | 小川正子 | 高橋正樹 | 森合仁美 | 青木祐美子 | 青木進 | 斎木守 | 高橋弘雄 | 佐藤由美 | 斎藤正人 | 増田勝美 | 南雲和佳 | 高橋孝美 | 樋口重美 | 小林靖枝 | 小林直輝 | 引間陽子 | 南雲裕司 | 南雲敏夫 | 樋口せい子 | 南雲正愛 | 南雲裕美 | 小林明也 | 高橋久也 | 小林涉 |

仙田地区

議会報告

六千二百九十二万円で 吉楽土建と契約

四月二十五日、第二回町議会臨時会が開かれました。
専決処分した税条例の一部改正、昭和六十二年度と平成元年度一般会計補正予算が承認、議決されました。

続いて、主要地方道小千谷大沢線(小白倉)道路改良工事の請負契約が議決されました。この工事は、東京電力第二ルート建設補償に関連するものです。

海外研修に 初めての補助金制度

一般個人 一日 一万円前後を交付

町では、新年度から町民が主体的に参加する海外研修に対して、補助金を交付することになりました。

おおむね十五歳以上六十五歳未満の健康な方ならどなたでも対象となります。農林・商工業者などの関係団体の推薦を受けた人(特別研修)や、教育・文化・スポーツ関係に参加する人(教育研修)はもちろん、個人が国際化社会に対応する人間形成を目指して自立的に参加する場合(一般研修)も、対象になります。



ブリスベーン市(オーストラリア)ヒルトンホテル前で
丸山十日町市長(左)と南雲町長(昭63.9.27)

特別研修と教育研修は、基準となる経費の三分の二の額を、一般研修は二分の一の額を補助することになっています。

申請など事務手続きや、詳しい内容は、教育委員会にお尋ねください。

祝 春の栄典

勲五等瑞宝章

丸山仁吉さん 69歳(下原)
元町消防団団長

勲六等瑞宝章

小林タミイさん 61歳(中屋敷)
元国保診療所看護婦



勲六等単光旭日章

江口初太郎さん 88歳(小白倉)
元町議会議員

黄 綬 褒 章

丸山欽一郎さん 63歳(原田)
新潟川西農業協同組合長



栄典には一定の称号だけ与えられる叙位と、表彰されたことを表わす叙勲や、褒章などがあります。

叙位には一定の称号だけ与えられる叙位と、表彰されたことを表わす叙勲や、褒章などがあります。

叙勲には一定の称号だけ与えられる叙位と、表彰されたことを表わす叙勲や、褒章などがあります。

●叙位：
現行では、死亡の際にのみ選考の対象になります。正一位か

●叙勲：
勲等は勲位と一から八等まであります。それに合わせて勲章が授与されます。旭日章は男子のみ、宝冠章は女子のみに授与されます。瑞宝章と文化勲

●褒章：
褒章は、紅、緑、黄、紫、藍、紺の六種類あります。対象は個人に限らず、団体でも認められています。



白倉運動場開き

昭63・9・15

土曜閉庁・週休2日制は 「社会で広く実施に」 ……賛成が72%

新聞社の全国世論調査

県が土曜閉庁を実施

県は、四月一日から土曜閉庁を実施しています。県庁と大半の出先機関で、毎月第二土曜日と第四土曜日が、日曜日同様休みとなります。

今までのとおり土曜日に休まない所は、次のとおりです。

県立病院 今までの土曜日と同様、午前中は外来も受け付けます。

公共施設 県民会館 美術博物館 自然科学館 県政記念館 図書館 視聴覚ライブラリー 青少年研修センター 少年自然の家 池の平・佐渡・中越・下越各スポーツハウス

市町村の実施状況は

一方、県内一二市町村中、すでに土曜閉庁を実施しているところは、十日町や松代・松之山・六日町・塩沢・湯沢など五市町村です。四週六休制試行（隔週土曜日を休むが、半数交代制で閉庁しない方式）を実施しているところは四三で、合わせて九七市町村（八六・六一％）となっています。

また、朝日新聞社が三月十五、



版画教室 昭63・11・16

総合センターで

教育機関 県立高校 養護学校

ほか

警察関係 派出所 駐在所

十六の両日おこなった全国世論調査が、四月六日付同紙に発表されてきました。それによると、週休二日制が社会で広く実施されることに賛成する人が七二％と、多数を占めていました。週休二日制が、一部官庁や金融機関だけにとどまらず、民間企業などを含めた社会全体に広がっていくことを望んでいる結果といえます。

余暇の効用

仕事からの解放



余暇の効用は、昔も今もわたしたちにとって大きなテーマです。この問題は、簡単に見えて、実はなかなか難しい内容を含んでいます。

人間性の回復を

目指す

まず効用の第一は、仕事からの解放、仕事の能率を高めることです。欧米人の目には、日本人は、仕事と余暇を区別しないで、ダラダラと長い時間働いていると映ります。仕事の中に遊びの感覚（要素）を持ち込むので、長時間労働に耐えられるのでしょうか。例えば、朝、職場についてすぐ仕事にとりかかるわけではなく、お茶を一杯飲んで新聞を読み、世間話の一つもしてから、さて……ということになります。反対に余暇の中で仕事のことを考えたり、実際に仕事をこなしたりすることも、日常しばしば経験するところです。

余暇の効用には、体と心を休めることがあります。長く働くこと、当然のことながら疲れます。そこで、仕事の手を止め、次の仕事に備えることを習慣としてきたのです。

疲れた体と心を きれいにしよう

き

本来、体を使う仕事をしている人は読書などの静的な余暇を楽しみ、反対に体をあまり動かさない仕事をしている人は、スポーツなどの動的な余暇を好むようです。

仕事と余暇を厳密に 区別する欧米人

一方、欧米人は普通、仕事と余暇を厳密に区別した生き方をしています。決められた時間から時間まで、一定の手引きに従って、仕事をします。そして、仕事の終了時間になったら、途中でであろうが何だろうが「店じまい」をします。日本人と欧米人とどちらの生き方がよいかは、一概に決められません。それぞれの歴史、風俗、習慣が違いますが……。

仕事で疲れた体と心を、もとの状態にもどし、翌日からの仕事の能率が上がるような余暇の過ごし方を、自分なりに見つけて出したいものです。

高倉ブナの家で

山菜まつり



「カンパイ」の発声をする国際村の渡辺エリカさん

四月二三日高倉ブナの家で、第二回「山菜まつり」が開かれました。少雪のため去年より二週間早く開かれたこのまつりには、国際村の方々や町外からのお客様など、百人ほどが集まりました。

会場には、新緑のブナ、真っ赤なモモの花、満開のサクラが飾られ、春をいっぺんに楽しむことができました。

山菜の三庫、仙田の山々から集められた山菜のフルコース、八種類もの揚げたてのテンブラに舌鼓。いつもは静かな高倉になごやかな声がこだましていました。

★ 献立の一部から ★



ゼンマイの煮物 コゴメのからしあえ

アイナのおひたし

ウドの酢の物 ウドのきんぴら

アサツキの梅酢漬

アイナとフキノトウのぬた ウルイのマヨネーズあえ



最高の味です、テンブラと山菜汁

雨の葉桜を 五七五に

長者が原公園(千手保育園前)

桜まつり行事の一環として、四月二十三日総合センターで観桜俳句大会が開かれました。

この大会は、毎年、町内の俳句グループ「声(アシ)の芽会」(会員数二十七人、金山柏樹代表)が地元商工会(田辺博支部長)の協力をえながら開いてい

ます。

ことしは、少雪のおかげでウソによる被害もなく、いっばい花をつけたことから、とくに、町の協力もえて広く一般の人たちにも呼びかけて、盛大におこなわれたものです。十日町の皆さんをはじめ、伊勢原市(神奈川)や見附市からの参加もあり、

当日は、散る桜の風情を楽しむ人たちでにぎわいました。

また、この大会に先がけて課題句を募集したところ、町内外から百十四人ももの投句がありました。滝沢篤衣(十日町)、庭野双葉子(同)、金山柏樹(霜条)、太田白南風(中央町)四氏の選者により選ばれた句をまとめて入選句集を発行。投句者全員に配布しました。

同会では、「今回のように町のご協力を仰ぎながら毎年実施し、定着した行事として続けてゆきたい」と話していました。

また、田辺商工会支部長は、「東京電力ご寄贈の桜苗木百本を植え、さらににぎやかな公園にしたい」と語っていました。



町内外から集まった40人のみなさん



10数年ぶりに満開となった長者が原公園の桜(4・14)

商工会青年部

東京で『ふれあい広場』

四月二十三日、杉並区高円寺

「幸寿司(水品喜晴さん、新町新田出身)」の前をお借りして、四回目的町商工会青年部「ふれあい広場」が開かれました。

二十二日夕方に出発した一行十六人の中には、二人のミスかわにしも同行しました。

町出身者あてに広報かわにしといっしょにチラシを入れてお送りしたところ、埼玉などの遠方からも訪れていただきました。

山菜や特産品販売のほか、町猟友会の協力をいただいた「タヌキ汁」は、あつという間に三百人前がなくなりました。十センチほどのコシヒカリの苗も好評でした。

あいにくの悪天候でお客さんも若十少なめでしたが、都会の人や、出身者との「ふれあい」は、来年もぜひやりたいと会員は語っていました。



都会の子どもたちが大喜び
「ふれあい広場」のキネつきもち

はる
歴史
語 26

柏崎日記

岩瀬 金子 幸 作

その五

横目付が立ち会う

渡辺平太夫が真人宿を出したのは、天保十五年(一八四四)五月十五日(現在の六月二十日)の正午をまわったころであった。八ツ(午後二時)過ぎに上野村庄屋勘蔵宅に着いたら、立ち合の御下横目(横目付の略称、役人の挙動を檢察して非違を弾劾する役)の大塚円蔵が昨日到着して待機していた。

さっそく見分しようと思ひ、村役人にその旨を伝えた。ところが役人衆は、「お願いしたい



当時の田形を残す内田代

(右下方)

場所は遠くて道が悪く、これから見分となれば夜に入ってしまった。今日は見合わせ、明日の朝早くからにしていたきたい」としつこく申すゆえ、よんどころなく取り止めることにした。

湯につかり、早く休んだが、この三日間は巳前(午後十時)ごろからときおり服痛がして激しい下痢に見舞われ、この晩も三度ばかりちようず(手洗い)に通った。夜中に大雨降りとなり、明日の見分がどうであろうかと気がかりなことであった。

内田代の見分に汗だく

十六日(現在の七月一日)、雨晴れ候へとも曇り、甚六ヶ敷空也。朝めし済、相談致し候へとも、今暫見合くれと申。四ツ(午前十時)頃迄見合居候処、ちとツ、雲はけ候も有之。出発にて降とも、先、今分にて急二降そふもなしとて、早昼給へ見分二出かける。

村の北浦山へ登り、峠式ツ越ひ、再度休息。皆々杖ヲ突き、すべり道漸上り、耆リ斗行見分場所也。田畑とも沢合也。田ハ

一沢にて階子田式反歩余有之。田形不宜。検地大分六ヶ敷、七口にて相済。畑方ハあちらこちらに少々ツ、有之。是も嶮岨の所ニ多有之。拾三口にて相済。

見分中度々雨降かけ、傘さしかけさせ、帳相ヲ致し候。甚むし暑く成り、山坡下り登り、大汗流し困り入り候。七ツ(午後四時)過村へ帰ル。湯二入、夫より当郡の大肝煎(大庄屋)酒井忠之助一盃さし上度と申。どじよふ汁斗なり。空腹にて大酔早く休ム。夜中より又雨。

田畑の等級が低い

十七日、昼前雨。夫より晴れ雲り折々日も当ル。今日ハ検地調方致し、昼過二出来上り候。下々田畑にて、此辺ハ石盛(田を上・中・下、下々の四等級に分けて収穫率を定めたこと)甚

ひくし。漸田畑合四石余の御高入也。夫より免払等之事、村方理解致し取極。七ツ(午後四時頃)当村御用全相済。

仕事が始まるに終わったので、ひさびさに月代(さかやき)を剃り、髪を整えた。それから湯に入り、湯上がりには唐茶(中国から舶来した茶、ウーロン茶のことか)を少し飲み、早目に休んだ。明日は、刈羽郡加納村の御損地場を見分する。

新町から三桶へ出る

十八日は折々雨になったが、五ツ(午前八時)過ぎに上野村を出立した。加納村へ行くのに、至近の仙田街道を越えなかつたのは、小国の桑名領も見ておきたいと考えたからのようである。しかし、本道を行けば途中で一泊しなければならず、小千谷から先の道も駕籠(かご)での通行に困難が予想されて、仁田、野口や大倉、白倉をかすめた大沢越えをすることになった。

この道は魚沼から柏崎や松之山の湯治場に至る近道で、商人も盛んに往き来しているとか、御陣内でも折々通るそうなのでこの街道を参る。

魚沼御領内取付の新田村は、ずれから、本道と分かれて山道にかかった。道は嶮岨であるが幅は広く、相応の街道である。峠を越す越え、三里(一二キロ)ばかりで御領所三桶村に着く。このあたりはごく山中だが、店もあつたりして村立はきわめてよろしく、結構な田所もある。

昼酒飲んで大沢越え

菅里(四キロ)ほど上り、下りして菅之島村に着いたが、先触れを出しておいたので村役人が途中まで迎えに出ていた。こ

の村も四方を山に囲まれているが、村立は至極よろしく、土蔵などもたいぶ見える。

庄屋官宅へ上り、弁当遣ふ積り之處、亭主より何も無御座候得とも、一盃さし上度と申。色々断り候へとも中々承知不致惣ち酒肴出す。急度したる御馳走也。山中なれとも魚類、玉子等ハ勿論珍敷もの出し候。夫より手打そば切と申て出ス。是又いもつなきにて結構也。仰山二給へられ大給へ致し候。上野村よりの人足茲にて戻ル。

八ツ(午後二時)頃にも有之候哉、出立。是より大沢峠にかかる。雨折々降、道わるく、それとも昼の馳走にて何も不知眠り、峠絶頂迄行漸目覚メ、夫より一同歩行、わらじはき杖つき坂下り候。無程御領所大沢村へ着く。鯖石川通り南東へ下り、御領分官平村渡場二人馬迎二出て居り、菅之島人馬と代り候。是より耆り行、加納村也。

平太夫は、加納村の見分を終えると駕籠で安田へ移り、この日は庄屋仁四郎宅に泊った。

※おわび 「柏崎日記」その

二、栃ヶ原から室島の記述のうち、距離などに不正確な部分がありました。また、「天池」は「シロカケ」の誤りでした。一筆者

はいけい

忘れられない親切

富士見市 菊地 和江さん

(中仙田出身)



いつも「広報かわにし」をお送りいただきありがとうございます。「議会報告」から「戸籍の窓」、「俳壇」と遠くにいながら、川西町の様子が手にとるように分かり、とても懐しく拝見させていただいております。

「お気軽にお手紙ください」との通知に、筆無精な私ですが勇気を出して書いてみました。

五十余年前の小学生時代。夏休みになると少しばかりのお土産物のふろしき包みを背負い、小国町の叔母の所まで行くのが楽しみでした。子供のいなかつた叔母が、すぐ喜んで迎えてくれたことが、とても印象深く思い出されます。

その途中小白倉に母の実家があり、祖母が健在のころは、よく立ち寄りしました。小柄な人の好い祖母は、顔じゅうしわにして笑っていました。「暑かっただろう……」と急いで庭から冷たいわき水をくんできて飲ませてくれたり、大きな囲炉裏でカキモチを焼いて食べさせたりしてくれました。そして、木製のくしで髪を奇麗に梳(と)かしてから、隣近所へ私を紹介しながら回って歩きました。

祖母は、村じゅうが自分の家のように、どの家にも上がり込んで行きます。すると、手作りの漬物や豆菓子、サツマイモのアメなど温かみのある一品が出来ます。各家庭での味を話題にしながら、おしゃべりを楽しんでいました。

ある夏の暑い日のことでした。日傘をさしてランラン気分て叔母の所へ行く途中、小白倉農協で買い物をしたとき、傘を忘れて

しまいました。日も落ちていたので日傘のことなどすっかり頭になかったのです。それからいく日か過ぎた帰りに農協へ寄りましたら、あきらめていた傘を大切に保管しておいてくださったのです。そのうえ、ほころびを繕い、骨の曲がっていたのまで直しておいてくれたのです。あのときの若い男

の職員の方、本当にありがとうございました。

今では考えられないような、あのときの親切が、ついきのうのこのようにはつきりと思ひ出されます。

豊かな自然、心温まる人びとのふれあい、とても懐かしく思われる今日このごろです。

成人式以来の

都会生活

大和市 鏝田キヨエさん

(野口出身)

本紙二月号表紙の橘小学校六年生の皆さん。表情からどこかの家の人に似ているようで、ご両親の顔が目につかぶようで、それでははつきりと分からなくて、もどかしい感じでした。長いこと町を離れていたことを痛感いたします。それもそのはず、成人式を橘小で祝っていたとき、以来、ずっと東京・神奈川で過ごしてきたのですから。

この大和市で、もう十六年に



平成元年度の成人式(総合センター)

行かれています。大体がお知らせに終始しているようです。その点、「広報かわにし」は紙質もよく、町のお知らせはもちろん、文化、教養、歴史、保健と凝縮され、本当に充実されています。遠く離れている私たちにも、十分理解出来ます。

今、市の中心大和駅を整備しています。あと六年もかかるそうです。小田急の相鉄が交差しています。わが家も駅の近くです。こちらへおいでの節は、ぜひお寄りくださいませ。

時節柄、皆みな様ご自愛くださいまして、ますますのご活躍をお祈りいたします。

「広報やまと」は、月二回発



来庁した4人の
キャンペーンガール



〈会場案内図〉

食は新潟 豊かな緑

ナイスふ〜ど 新潟'89

食と緑の博覧会

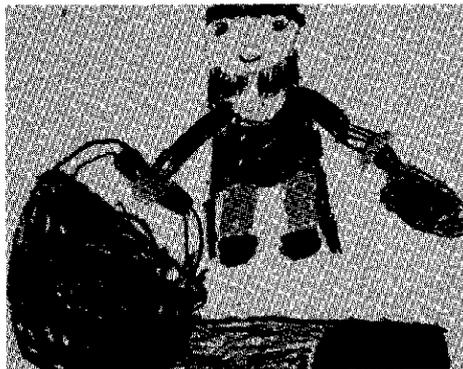
七月十四日から九月三日まで新潟県産業振興センターで開催される「ナイスふ〜ど新潟'89」食と緑の博覧会のキャラバン隊が、四月十二日役場を表敬訪問

グアム旅行など総額一千万円相当の賞品が当たる抽せん券つきの前売り券は、役場総務課で発売しています。大人千五百円、高校生五百円、小・中学生五百円、幼児二百円です。

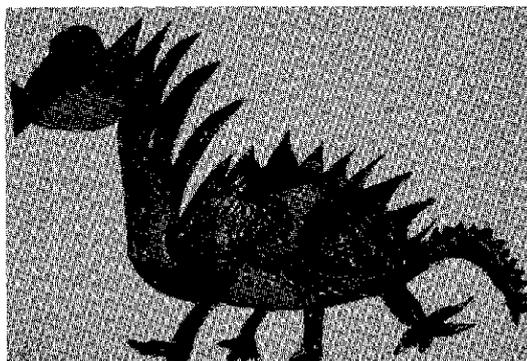
ユキツバキのような真っ赤なユニホームの四人のミスふ〜ど新潟は、博覧会会長のメッセージの伝達や、会場の展示館などについて説明をしました。
夏休みには家族連れで県内最大級の博覧会会場に行ってみませんか。



6年 茂野貞光君 (版画)



1年 こばやしみなこさん

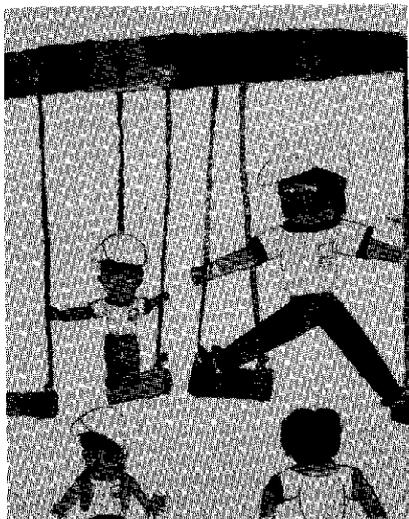


2年 登坂幸雄君

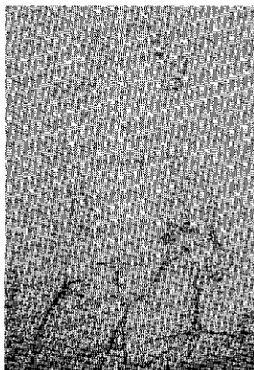
ちいさな展覧会

仙田小学校

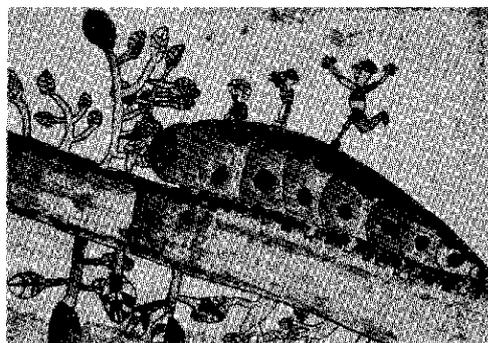
10



3年 小林理恵さん



5年 登坂郁菜さん



4年 小川 正君

6月号は 白倉小学校です

住所変更と

年金の支払い

年金を受けている方には、「振込通知書」か「支払通知書」をお送りしています。この通知書が確実に届くためには、正確な住所を届け出しておく必要があります。

年金を受けている方には、「振込通知書」か「支払通知書」をお送りしています。年金の支払い事務は、一カ月前から始まります。ですから、変更届をしても、前の住所に配達されることもあります。旧住所地の郵便局にも、転居先を届けておくことが大切です。

住所が変わったら必ず届け出てください。受け取り先の銀行

金子さん

教育委員長に再選

三月の町議会定例会で同意を得ていた教育委員会委員金子幸作さん（岩瀬）が、四月二十一日の同委員会で、教育委員長に再選されました。同氏の新しい任期は、五月二十日から向こう四年間となっています。

善意

広報発行に

匿名希望（相模原市）

五千円

春の行政相談週間

5月14日～20日

さわやか行政サービス運動

行政への注文は

滋野相談委員へ

去年に引き続き野口の滋野サダさんが、行政相談委員に委嘱されています。行政サービスに対するご意見、ご要望をお寄せください。

No. 6

新しい家族

夫婦で子育て

お母さんの声変わり

赤ちゃんにはやさしい声を出していたお母さんが、子どもが二歳ぐらになると、けわしい声になります。お母さんの声変わりです。

どうして声が変わるのかというと、よその子が気になるからです。うちの子がおくれるのではないかと、心配なのです。小さな子をつれているよそのお母さんがいると、近づいていて「おいくつですか？」と聞かずにはいられません。その子が同じ年で、うちの子よりもしゃべりしているようだと、お母さんはいらだちます。「あなたも、しっかりしなくちゃ」と。

あなたグズグズしないで、早く咲きなさい」などと試みてみても、キクちゃんどうしようもないでしょう。目の前で、目先のことであせるのは禁物です。じっくりと花を待つのです。

こんな話があります。子どものかかる小児科のお医者さんには、ニコニコしている先生もあれば、ちょっとこわい先生もい

どうも誤解があるようです。二歳の子は、みんな同じことができるのだと考えるのです。子どももめいめい発育のしかたが違います。

チューリップは、春になると早々と咲きますが、キクはしばらくは秋にならないと咲きません。子どもにはチューリップ型もあれば、キク型もあります。キクちゃんのお母さんが「チューリップちゃんをこらんなさい。もう花を咲かせているじゃないの。」

ます。おもしろいことに、ニコニコした先生にかかった方が、子どもの病気が早くおるといふのです。そんな非科学的なこと、と笑うことが心の不思議なところなのです。

あるところでお母さんの声変わりの話をしたら、「私は朝と晩で声が変わります」というお母さんがいました。ことに外で働いているお母さんは、夕方帰ったときの声が、朝よりもとげとげしくないか反省しましょう。



乳児ツ反検査 (4.18 橋コミ・センター)

戸籍の窓から

昇天—こめい福を祈る

根津 未来 6 (正治) 上野
 根津真樹子 9 (ク) 上野
 押木 純治 41 (登) 元町
 齋木 政治 46 (本人) 木島
 丸山 米吉 72 (政夫) 木落
 桐生幸太郎 73 (稔) 大白倉
 押木 寛平 76 (藤榮) 元町
 岡島 盛治 76 (本人) 仁田
 丸山 トヨ 80 (清) 高原田
 数藤與太郎 80 (本人) 沖立
 太田 寅治 81 (茂治) 木島
 押木 フネ 81 (良造) 田戸

高橋啓太郎 82 (本人) 伊友
 うぶ声—おすこやかに

渡貫 悠也 徳夫 長男 新町新田
 南雲 香織 貴子 長女 上野

丸山 貴之 信一 長男 原田
 保坂 洋二 久夫 次男 高原田

川原 彩 信幸 長女 上野
 星名 千恵 正明 長女 沖立

小川 達也 美由紀 長男 学校町

中仙田 南雲 寿恵
 草の芽を盛りまごごの子は留守に
 初音聞きたる朝をよき日とし

一日の色を増しゆくぶな芽かな
 野口 野沢 寅生

春光や水輪大きく広がりて
 足立区 山形 頼太

日に三度ぜんまいを採み留守居婆
 小脇 佐藤 信一

草餅をいただき村の春祭
 高倉 齊木 和人

山芽吹く色を重ねて雨上り
 中仙田 高野仙蒼子

幻のごとくに富士の春がすみ
 霜条 星名 星光

県境の山の辛夷の白々と
 伊勢原市 金子 桂吉

苗育つハウスに淡き月の影
 大倉 中条 石平

戸田 豪允 博視 長男 仁田
 たかさご—円満に

櫃間 茂佳 伊友
 長部 祥子 中屋敷から
 春日 和久 伊友
 小野 まゆ美 千葉県から
 平野 久男 四郎兼
 富井 幸子 上野から
 南雲 敏秋 四郎兼
 山田 珠子 十日町市から
 丸山 浩二 十日町市から
 相崎 和子 沖立
 高橋 剛 中屋敷
 高橋 君子 十日町市から

赤谷 登坂 酔月
 留守をもる父に買いく花見酒
 たんば、の座を上げたるたくましく

旅なれし身の春暁に目覚めおり
 八王子市 松浦 サク

夕ぐれて土手の葉桜風わたる
 八王子市 田中 ひさ

二輪草その白きゆえ手折られて
 野口 村越 幸

畑を打つ嘔り近く聞きながら
 中屋敷 数藤 壮一

揃いたる頭ゆらゆら葱坊主
 発音所通り 藤田宏太郎

春の雨登校傘のカラフルに
 三領 水品 律

春光のあまねくサイクリングかな
 霜条 大海 白濤

背なの子によく廻りいる風車

思い切る—こよ—で

安心でききます

小白倉 江口 教さん

去年まで白倉地区の人は、橋の高齢者センターまでわざわざ出かけなければ、胃の検診を受けることができませんでした。「受けたいけれども遠くて」という声や、検診車が増えたことなどから、今度、白倉に検診車が入ることになりました。去年、橋で受診した白倉の江口さんから、検診の感想を話していただきました。

去年春の住民検診で「胃検診を受けてみたら」といわれました。食べものをいっぱい食べたときに、ちよつともたれる感じもありました。

わざわざ橋まで行くのはおっくうだし、「足」もなかったので迷いました。でも、二十年ぶりに思い切つて受けることにしました。

心配していたバリウムは、昔より飲みやすくなっていましたし、担当の方々が親切で気持ち良く受診できました。ただ、検診のときのエレベーターみたいな台が、頭の方から下がるのが少し怖いような気持ちでした。

検診は考えてみれば自分のためですし、結果が来て、なんともなければ安心します。

住民検診と同時に胃の検診をしているところもあると聞いています。田植え時期などを考えて忙しくないときに検診があればいいと思います。

今年六月に胃検診が白倉であると聞いて、近所の人も誘つて行きたいと思えます。



農作業の暇なときは絹織物作りをしています